

三重県鋳工業生産及び生産者製品在庫の動き

1 概況

1 生産の動き

平成 25 年の県内鋳工業生産指数の年平均は 114.3 (平成 22 年=100) で (年指数については、原指数によります。以下同じ。) 対前年比 5.3%増となり、2 年連続の上昇となりました。四半期ごとの推移についてみると (四半期別指数については、季節調整済指数によります。以下同じ。) 1 期 109.7 (対前期比 2.8%増)、2 期 115.9 (同 5.7%増)、3 期 118.6 (同 2.3%増)、4 期 113.7 (同 4.1%減) となりました (表 2、図 1)。

これを業種別に対前年比でみると、情報通信機械工業 ▲44.6%、鉄鋼業 ▲8.8%、非鉄金属工業 ▲8.0%、石油・石炭製品工業 ▲6.5%、電気機械工業 ▲5.5%、パルプ・紙・紙加工品工業 ▲4.6%、プラスチック製品工業 ▲4.6%、木材・木製品工業 ▲2.4%、金属製品工業 ▲2.2%、窯業・土石製品工業 ▲0.1%が低下となりました。上昇した業種は大きい順に、業務用機械工業 13.8%、繊維工業 13.1%、電子部品・デバイス工業 12.5%、家具工業 10.4%、その他製品工業 9.2%、生産用機械工業 7.4%、鋳業 7.1%、食料品工業 5.7%、輸送機械工業 5.5%、化学工業 5.2%、ゴム製品工業 2.6%、はん用機械工業 0.5%となりました (表 4)。

また、財別に対前年比でみると、その他用生産財 ▲7.0%のみが低下で、それ以外すべての財が上昇で大きい順に、耐久消費財 11.1%、資本財 5.9%、鋳工業用生産財 5.0%、非耐久消費財 3.3%、建設財 0.8%となりました (表 5)。

2 生産者製品在庫の動き

平成 25 年の県内鋳工業生産者製品在庫指数 (以下「在庫指数」とします。) の年平均は、113.0 (平成 22 年=100) で、対前年比 12.0%減となり、2 年ぶりの低下となりました。四半期ごとの推移についてみると、1 期 127.0 (対前期比 20.7%減)、2 期 120.4 (同 5.2%減)、3 期 108.0 (同 10.3%減)、4 期 97.0 (同 10.2%減) となりました (表 3、図 1)。

これを業種別に対前年比でみると、家具工業 64.1%、鉄鋼業 26.3%、繊維工業 23.7%、パルプ・紙・紙加工品工業 17.1%、ゴム製品工業 14.2%、化学工業 5.3%、金属製品工業 5.1%、窯業・土石製品工業 2.8%、はん用・生産用・業務用機械工業 0.6%が上昇となりました。低下した業種は大きい順に、その他製品工業 ▲46.7%、電気機械工業 (旧分類) ▲31.9%、輸送機械工業 ▲28.2%、非鉄金属工業 ▲17.0%、石油・石炭製品工業 ▲10.6%、木材・木製品工業 ▲3.3%、食料品工業 ▲2.3%、鋳業 ▲0.6%、プラスチック製品工業 ▲0.5%となりました (表 6)。

また、財別に対前年比でみると、建設財 4.4%、鋳工業用生産財 0.5%が上昇となりましたが、それ以外の財は低下となりました。低下した財は大きい順に、資本財 ▲32.1%、耐久消費財 ▲25.9%、非耐久消費財 ▲8.3%、その他用生産財 ▲6.7%となりました (表 7)。